

P (構想)

授業づくり規準 (国語科)

要素	力 学習指導力 (授業における姿勢や指導方法等、 各教科等共通の授業づくりの力)	教科指導力 (国語科の内容に関わる授業づくりの力)
学習者の実態把握	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者の発達の段階を踏まえた上で、生活体験や学習の経験は学習者によって異なることを意識している。 ・学習の方法や理解の仕方は学習者によって異なることを意識している。 ・学習者の性格や学習に対する意欲等を把握している。 ・学習集団の特質や、個と集団の関わりを把握している。 ・個々の学習者に対して、指導上配慮すべき事項を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年または各科目(高)の既習事項の習得状況等、学習者の理解度を把握している。 ・学習者がすでに体験した言語活動を把握している。 ・国語に関する学習者の興味・関心、意欲等を把握している。
教科内容に関する知識・技能		<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領から、当該学年における各領域の指導事項や言語活動例を10年間(小・低～高・国語総合)の系統性の中で把握している。 ・指導事項に即して教材の特長を捉えている。 ・学年別漢字配当表・新常用漢字表を理解し、各学年において対応している。 ・教科内容に関する知識や、探究するための態度・技能を持っている。
目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・学習は、学習者自身の主体的・探究的な活動によって成立することを理解している。 ・学校の教育目標や課題を踏まえ、育てたい力を捉えている。 ・学習を通して学習者の自信を深め、自己肯定感を高めるという意識を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の目標に関心・意欲・態度、領域の目標、知識・理解による3点で設定している。 ・学習者の実態に合わせて指導事項を絞り込んでいる。 ・単元の目標を達成する手だてとしてふさわしい言語活動を設定している。 ・単元の目標と関連付けて、各時間の目標を設定している。
単元(題材)計画 (授業計画)	<p>(学習指導案の作成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導案の重要性や、目標、内容、方法等の指導案の形式の意図を理解し、指導計画を表現している。 <p>(評価計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な到達目標とそのため適切な評価方法を選択・計画している。 ・自己評価、他者評価等、学習者が学習を改善するための手だてを考えている。 	<p>(単元計画の作成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習者の実態把握→身に付けさせたい言語能力(指導事項)→「指導事項」を指導するのにふさわしい言語活動→教材の選択という順序を意識して単元計画を作成している。 ・年間指導計画に基づいて指導事項を選定している。 ・1単元では1領域の指導を行うことを意識して単元計画を作成している。 ・単元を貫いた言語活動を設定している。 <p>(評価計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標に照らして3観点で評価計画を作成している。 ・言語活動は領域の目標を達成するための手だてであり、目標ではないことを理解している。
授業の構成	<p>(学習方法・形態の選択・組織)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成するために、学習者の実態を踏まえた適切な学習方法や学習形態を考えている。 ・新たな知識・技能・学び方等を発見したり、習得したりする喜びを実感できる授業を行うために、学習方法を改良・開発している。 ・主体的な探究活動や問題解決を考慮して、授業を組み立てている。 ・学習者が学習内容や学習の過程を振り返るための手だてを考えている。 	<p>(学習内容の構成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の目標、各時間の目標を踏まえて授業を構成している。 ・各授業の継続性、完結性を意識して単元の授業を構成している。 ・音読や朗読、暗唱などを積極的に取り入れている。 ・言語活動例を参考にして、具体的な言語活動を教材に関連させ構想している。 ・一斉授業、小集団による学習、個別の学習等、様々な授業形態を、授業の目標に照らして効果的に取り入れている。 <p>(教材の選択・構成・開発)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な教材の収集・蓄積に努めている。 ・学習者の実態に即し、指導事項を身に付けるのにふさわしい教材を選択している。 ・学校図書館の活用やICT機器の活用等を適切に取り入れている。 <p>(板書等の計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標に即し、授業展開を予測した板書計画や発問計画を立てている。 ・目標を達成するための有効な働き掛けや個への支援を計画している。

D (展開)

授業づくり規準 (国語科)

力 要素	学習指導力 (授業における姿勢や指導方法等、 各教科等共通の授業づくりの力)	教科指導力 (国語科の内容に関わる授業づくりの力)
学習環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 学習環境が、学習者の安全や認知にどのような効果を与えるかを意識している。 	<ul style="list-style-type: none"> 掲示物や読書用図書、辞書の整備等、教室内の言語環境を整えている。 学習者が安心して自分の考えを発言したり、他の学習者の意見を受容したりできる環境を整えている。
学習への構えや学び方の指導	<ul style="list-style-type: none"> 学習者がどのような姿勢で学習に臨めばよいかを明確に示し、学習者に意識させている。 学習過程や自分の考えをまとめていけるようなノートづくりを指導している。 	<ul style="list-style-type: none"> 何を学ぶ単元(時間)であるのかを学習者に意識させている。 辞書や資料の使い方、小集団での話合いの仕方等、必要な技術の定着を図っている。
個や集団への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 個への対応に具体的な配慮をしている。 集団における学習の大切さや、個の発言の集団への影響を意識している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習者の学習状況や習熟度に応じた個への支援をしている。
音声・表情・所作	<ul style="list-style-type: none"> 話し方や表情・所作と学習者の反応との関連を意識している。 場面や目的、環境等に応じて、声の大きさ、話の速さ・緩急・強弱等の話し方や表情を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」の領域目標を理解し、学習者の模範となる話し方、聞き方をしている。
指導技術	<p>(言葉遣い)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習者の発達の段階に応じた適切な言葉遣いをしている。 <p>(説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> 分かりやすい言葉で、端的に説明している。 <p>(指示)</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的を意識させながら、どんな行動をすべきかを明確に示している。 <p>(発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習者が何を問われているか理解できる発問をしている。 <p>(板書)</p> <ul style="list-style-type: none"> 見やすさを考慮し、視覚的に構造化するなど、工夫しながら丁寧に板書している。 学習者の様子を観察しながら、板書している。 <p>(演技・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習場面や教材の特性に応じて、適切であると考える演技をしている。 待つ時間や「授業のやまば」等意識して授業を展開している。 	<p>(言語)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語科固有の用語を正しく使用している。 <p>(説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習者のつまづきやすい点を推測し理解が得られるように説明している。 <p>(指示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ねらいや学習内容を踏まえ、必要とする場面で指示している。 <p>(発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ねらいを達成するために、学習者の思考を促したり、課題を焦点化したりする発問をしている。 <p>(板書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ねらいと学習内容を踏まえ、学習者の思考活動との関係をおさえて板書している。 正しい筆順で文字を書いている。 <p>(演示)</p> <ul style="list-style-type: none"> 書写指導に必要な技術を身に付け、学習者に示すことができる。(小・中) 区切れやリズムを大切にしたり、学習者の手本となる音読や朗読を示すことができる。 <p>(教材・教具の活用、資料提示)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習者にとって、どのような教材・教具、資料がよいかを考え、活用している。(ICTを含む)
学習活動における即時的対応	<ul style="list-style-type: none"> 学習者の発言や行動を適切に受け止め、達成感、満足感を感じさせている。 学習内容に適した評価法を用意し、実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習者の多様な考えを教材に即して認めている。 学習者の様子や授業目標との関係を捉え、指導過程を修正することができる。

C・A(評価・改善)

力 要素	学習指導力 (授業における姿勢や指導方法等、 各教科等共通の授業づくりの力)	教科指導力 (国語科等の内容に関わる、国語科固有の授業づくりの力)
授業の振り返りと分析	<ul style="list-style-type: none"> 「指導と評価の一体化」を意識している。 授業によって、学習者がいかに変容したかについて、絶えず関心を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導目標の達成度を評価物等から明らかにしている。 指導目標を実現するために、言語活動が有効であったかを検証している。
改善に向けた手だて	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導の方法の効果について、意識的・具体的に捉え、指導方法の改善に結び付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> P・Dについて振り返り、改善点を具体的に示し、授業改善に生かしている。